学校法人　小林学園
本庄東高等学校附属中学校
きりぐるま
第61号

体育祭

十月十二日（金）、朝まで天候が心配される中、体育祭を行なった。限られた時間を使い、本番まで気持ちが途切れることなく練習を重ねてきた。雨上がりの強風に負けることなく、懸命に競技する姿が印象的だった。

一年生

僕はこの体育祭で、協力することの大切さを知りました。最初の競技である長縄では、練習のときよりも集中し、連続で数十回跳ぶことができました。その結果、学年で一位になることができて、とても嬉しかったです。一人ひとりが仲間と協力したからこそ、長縄だけではなく、学年でも縦割りでも、優勝することができたのだと思います。

（長山　雅樹）

二年生

体育祭の日が近付くにつれ、クラス全体が一致団結していくのを感じました。なかなか上手くいかなかった練習も、去年の経験から皆と話し合っていくことで、良い状態で当日を迎えることができたように思います。特にリレーでは、練習の成果を発揮することができました。一番で帰ってきた友達と先生と一緒に喜び合った光景を、今でも鮮明に覚えています。

全体での優勝こそ逃しましたが、クラス全員で笑い合うことができたこの最高の一日を、私はこの先も絶対に忘れません。

（渡邉　心彗）

三年生

約一カ月前に、当日までの練習表を作るところから始まった体育祭。個人種目は、練習を重ねるごとに良い記録が出るようになり、毎日続けることに良い記録が出るのだと感じました。しかし、綱引きは勝てないまま、長縄は目標の百回を超えないまま、本番を迎えてしまいました。

本番当日、最初の種目が課題であった長縄でしたが、初めて百回を超えることができました。また、綱引きも一度も勝ったことがなかったのに、本番で一位を獲ることができ、どちらも涙が出るほど嬉しかったです。個人的には、二人三脚でアンカーという重要な場所を走ったことも思い出です。練習通り、一位でバトンを受け取ってそのままゴールすることができました。附属中生活最後の体育祭で学年優勝できたことはもちろん、クラスみんなで楽しめたことが何よりも嬉しかったです。

（松﨑　翔子）

総合優勝１組

学年別優勝

- １年１組
- ２年１組
- ３年２組

教育講演会

十一月八日（木）、戦場カメラマンの渡部陽一さんをお招きして教育講演会を行なった。戦場での経験だけではなく、国際社会の情勢について考える良い機会となった。

渡部さんは講演の中で、戦争の悲惨さや戦場で学んだことを話してくださいました。

渡部さんが戦場カメラマンになったきっかけは、アフリカのジャングルでの体験です。内戦に巻き込まれ、苦しむ子どもたちを救うことができなかった悔しさから現在の職についたそうです。私は、まだ将来の進路が決まっていません。しかし、将来を決めるきっかけはいつどこで見つかるかは分からないので、色々なことに挑戦してみようと思いました。

また、戦場での体験を通し渡部さんは二つのことを教えてくださいました。一つ目は「相手のことをよく知る」ということです。戦争をしている国と国がお互いのことを知れば戦争もきっと減っていきます。それは私たちの日常においても同じことです。お互いのことをよく知り、相手のための行動をとれるようにしていきたいと思います。二つ目は「準備をする」ことです。渡部さんは取材のとき、準備を八割してから残り二割を現場で発揮するそうです。私も成功するための準備を怠らず、周囲への感謝を忘れずに今後も生活していきます。

（富田　実乃理）

1年生　校外研修（科博）

十一月二日（火）、一年生は上野の国立科学博物館を見学した。それぞれが知的好奇心を大いに刺激されたようだった。

私の心に残った展示品は、動物のはく製です。大好きなオオカミのはく製はとても迫力があってかっこよかったです。イヌワシは今にも飛び立ちそうでした。ボランティアの方によれば、誤って金属を食べた動物を食べることで、イヌワシの命に関わることがあるそうです。また、環境汚染や温暖化の影響もあって、絶滅危惧種に認定されています。このお話を聞いて、私はイヌワシを助けてあげたいと思いました。

今回の見学で、私は動物や元素のことなどを学べました。班行動では、普段あまり話さない人とも会話することができて、良かったです。これからは、今回の学びをいかして勉強していきたいです。

（関根　侑香）

科学の甲子園

八月四日（土）、中学一・二年生対象の科学の甲子園ジュニア埼玉県大会が開催された。本校からも十八名の生徒が参加した。

三人一組でチームを組み、私たちは実技試験から始まりました。実験などでは、仲間と協力して楽しみながら問題を解くことができました。次の筆記試験では、いくつかの問いを解いて、一つの答えを導き出すという問題でした。私たちは見たことのない問題に苦戦しながらも役割分担をし、意見を交わしながら解いていきました。時にチームの中で意見がぶつかり合うこともありました。それでも限られた時間の中、三人でしっかりと話し合い、答えを導き出せたときは、とても達成感がありました。

結果は六四チーム中の三位で、驚いたのと同時にとても嬉しかったです。この感動を得られたのも仲間の協力があったからこそだと思います。今大会に挑戦して、より一層科学と数学の楽しさを感じることができました。

（新井希乃花・安里帆夏
猪俣真子）

部活動

新人・県民総合体育大会結果

▼柔道部
祝 県大会出場ベスト８　黄永竣

▼テニス部（ダブルス）
祝 予選優勝　県大会出場　櫻井俊輔　齋藤壮太郎

▼男子バスケットボール部
祝 予選優勝　県大会出場

各種表彰

▼税の作文
祝 埼玉県納税貯蓄組合総連合会　優秀賞　清水美礼

祝 本庄商工会議所　会頭賞　松﨑翔子

▼その他作文
祝 国際ユース作文コンテスト　佳作　森田麻椰

祝 第四九回JXTG童話賞中学生の部　優秀賞　羽渕真穂

▼標語
祝 青少年健全育成標語　優秀賞　若原百香

発行・本庄東高等学校附属中学校　埼玉県本庄市西五十子大塚318　TEL.0495－27－6711㈹　　印刷／㈲本庄孔版社　TEL.0495－22－4436
［ホームページ］http://www.honjo-higashi.ed.jp　［メールアドレス］mailadm@honjo-higashi.ed.jp